

国際理解教育/開発教育 学習指導 (活動) 案

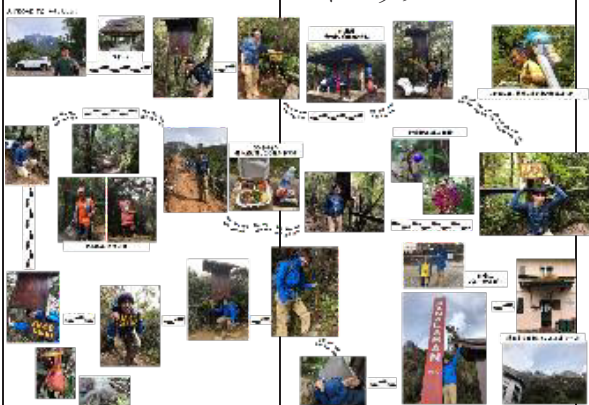
【実践者】

授業者氏名	高木 大作	学校名	市立札幌藻岩高等学校
教科 (科目)・領域	体育	対象学年 (人数)	1 年 8 組 (41 名)
実践年月日もしくは期間 (時数)	2021 年 1 月 19 日～1 月 26 日 (全 2 時間)		

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：「持続可能なスポーツ」を目指して					
2. 実践する教科・領域： 体育「体育理論」 単元：スポーツと環境	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： スポーツが持つ多様な価値、及びスポーツに関わる人々の増加がもたらす環境や社会への影響について理解した上で、スポーツの持続可能な発展に向けて、自己のスポーツとの関わり方を見つめ直すことができる。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	スポーツが持つ多様な価値、及びスポーツに関わる人々の増加がもたらす環境や社会への影響について理解する。			
	②思考力、判断力、表現力等	スポーツの持続可能な発展に向けてのアイディアを考え、他者に伝えることができる。			
	③学びに向かう力	今後の自己のスポーツとの関わり方について、主体的に考えようとしている。			
6. 単元設定 の理由・単元 の意義 （児童／生徒観、教材観、指導観）	【単元設定の理由あるいは単元の意義】 本校の総合的な探究の時間では、持続可能な社会の構築のために必要なスキルや資質を身につけることを目標に、1 年次では、SDGsのレンズを通して実社会の様々な課題を理解する取り組み、2 年次では、フィールドワークを通じて私たちの暮らす地域の課題を発見し、その課題解決に向けたアイディアを創造し実践する実践、をそれぞれ行っている。今後、教科横断的な視点に立ち、各教科においてもこの目標の達成のための教材開発が期待されている。また、日本のスポーツ庁では、「スポーツSDGs」というスローガンを掲げ、スポーツの力を活用したSDGsの達成に取り組んでいくことが謳われている。これらのことを踏まえ、本単元は、「スポーツ」を題材とし、持続可能な社会について考える場として設定した。				
	【児童／生徒観】 本校は、運動部活動が盛んであり学校体育以外にも日常的にスポーツとの関わりを持つ生徒が多いが、多くの生徒は「スポーツ＝するもの」と一面的に捉えている。スポーツを多角的な視点から捉えさせることで、新たなスポーツとの関わり方について考える機会としたい。 また1 学年では、総合的な探究の時間において、年度当初から、様々な答えのない「問い」に対して、他のクラスメイトと混在するグループ活動を繰り返し行っている。そこでは対話のルール（否定しない、うなずき・あいづち、傾聴など）が確認され、対話のための安心・安全な場が醸成されつつある。そのため、学級においても、安心して対話ができる土壌があり、グループ活動においても積極的な参加が期待できる。				
	【教材観】 登山における環境や社会への影響とその持続可能性について考えることを契機として、身近なスポーツもまた、直接的または間接的に、環境や社会に影響を与えていることを、共感的に理解しながら自覚化できるようにしたい。そして、「スポーツが持つ多様な価値（社会への影響）」「スポーツによる経済効果」「スポーツがもたらす環境への影響」の3つに視点を向けることで、スポーツの持続可能な発展について考えさせたい。				

【指導観】 様々な発問によって、多角的な視点からスポーツを捉え直し、スポーツの多様な価値やスポーツとSDGsとの関わりに気づかせたい。また身近なスポーツ活動のみならず、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての持続可能な取り組みにも触れながら、国際的な視点でのスポーツの持続可能な発展についても考えさせたい。			
7. 単元計画（全2時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1 本時	・スポーツに関わる人々の増加が、環境や社会へもたらす影響について理解する。	・登山における環境への負荷の具体例を、行程マップや山小屋での生活の写真から見つける。 ・「日本のスポーツ関係人口の推移」「オリンピック参加国」「世界のスポーツ産業市場の推移」のグラフを読み取る ・環境負荷軽減のアイデアを出す。	パワーポイント資料 登山行程マップ 山小屋での生活の写真 グラフ ワークシート
2	・スポーツの持続可能な発展に向けてのアイデアを考え、他者に伝えることができる。	・身近なスポーツがもたらす環境や社会への影響、及びそのスポーツの持続可能な発展について考え、発表する。	パワーポイント資料 ワークシート

8. 本時の展開（概略） 1 / 2 時間目 本時のねらい： 登山における環境への負荷の具体例やその解決方法について考えることで、スポーツに関わる人々の増加が、環境や社会へもたらす影響について理解する。			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	1. 導入 「もし、これらのスポーツ行事が、環境汚染や環境被害のある場所で行われなければいけなくなったら、そのスポーツが持つ本来の楽しさを味わうことができるでしょうか。」 「私たちが経験しているスポーツの中には、自然環境があるからこそ成り立っているものがあります。どのようなスポーツがあるでしょうか。」 ・カヌー ・サーフィン ・ダイビング ・スキー ・スノーボード ・キャンプ 「環境汚染が進めば、これらのスポーツが成り立たなくなります。」	校内活動におけるスポーツの場面の写真を紹介する。 自然環境があるからこそ、スポーツが成り立っていることに気付かせる	・写真 ラフティング(宿泊研修) 体育祭 スキー授業 ⇄ 汚染された河川 大気汚染 雪不足のスキー場
展開 (30分)	2. スポーツによる環境への影響について考える 「昨今スポーツがもたらす環境への影響について目が向けられるようになってきました。私たちが身近に行っているスポーツは、環境に影響を与えているのでしょうか。」 「スポーツを一つ取り上げて、環境にどのような影響を与えているか考えてみましょう。」 ・野球：バッドで木を使っている ・バレー：環境への影響はない	スポーツを挙げられていない生徒は、体育の授業で行っている種目でもよい 	・資料1: キナバル山ロードマップ
(15)	1) 登山における環境への負荷について考える 「例えば、私たちが登山に行くと、環境にどんな影響を与えるのでしょうか。資料1のロードマップを見て、登山中の環境への影響について様々な角度から考えてみましょう。」 ・ランチのゴミ ・トイレのし尿 ・植物を踏みしめる ・草花の採取 ・登山道までの車の排気ガス ・登山道を切り開いている ・山小屋や休憩所の建設での森林の伐採 「資料2の山小屋での生活の様子から、環境への		

影響についてさらに考えてみましょう。」

- ・トイレ、洗顔、シャワーによる水使用
- ・シーツなどの洗濯
- ・食材の冷蔵保存時のエネルギー消費
- ・山小屋まで電気や水道をひいていること
- ・物資の運送コスト
- ・バイキングでのフードロス
- ・ポテトチップスなどのプラスチックゴミ



資料2: キナバル山小屋での生活



環境への影響を付箋に書き出し、ロードマップ上の関連する写真の横に貼る

間接的な視点（「支える」の視点）から、環境への影響についても考えるように促す

「減らせるもの」については、別色の付箋にどのように減らせるのかを具体的に記入し、該当の写真に貼る

ワールドカフェ形式で情報を共有する

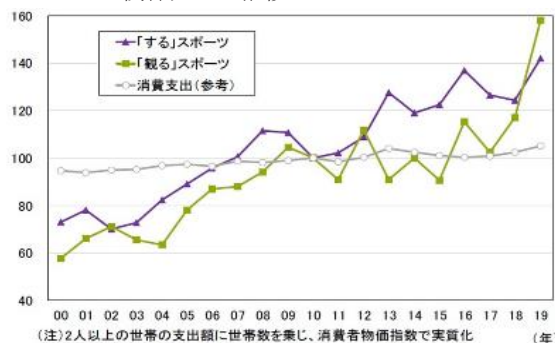
- ・黒マジック
- ・赤マジック
- ・付箋（2色）

- (7) 2) 環境負荷の削減について考える
「マップに貼った環境への負荷を減らすことはできるでしょうか。もし減らすことができるとしたら、どのような方法が考えられるでしょうか。」
- ・自動車の乗り入れを禁止して、公共交通で
 - ・ゴミの持ち帰り ・飲食物持参 ・寝袋持参
 - ・バイキング/売店不要（贅沢をしない）
 - ・排便は肥料に ・使い捨てのものは使用しない
- (8) 3) クラス全体で情報を共有する

まとめ
(15分)

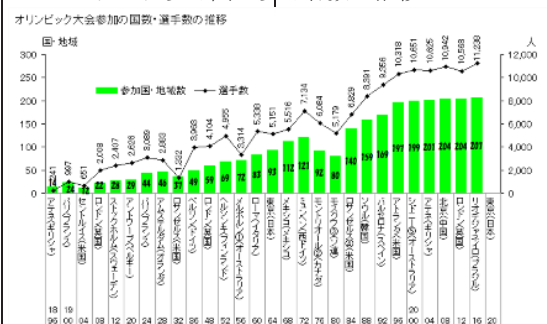
3. スポーツの持続可能なあり方について考える
1) スポーツの持続可能なあり方について考える
「X、Y、Zのグラフから、どんなことが読み取れるでしょうか。」

X: スポーツ関係人口の推移

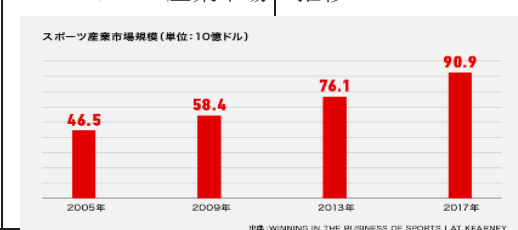


- ・X: 日本でスポーツを「する」「みる」人が増加
- ・Y: オリパラ参加国数、参加者数が増加
- ・Z: 世界でスポーツ産業市場が拡大

Y: オリパラ参加国・参加者数の推移



Z: スポーツ産業市場の推移



	「スポーツのグローバル化が進み、スポーツ人口が増えていく中、未来のスポーツはどのようなようになるべきでしょうか。(未来のスポーツを、3つの視点から考えていくことが求められています。どのような視点でしょうか。)」 ・スポーツの価値 ：爽快感、達成感、目標発見、地域の結束力 ・経済への影響 ：雇用、観光、スポーツ用品、試合、大会開催 ・自然環境への影響 ：森林伐採、ゴミ、CO2→異常気象 「キナバル山の登山の3つの視点のバランスはどのようになっていると思いますか。」 「未来のスポーツは、どのような三角形になるでしょうか。」 「3つの視点のバランスが取れた状態を、『持続可能なスポーツ』と言い、これが未来のスポーツの目指すべき形となります。」 (時間があれば紹介) 「キナバル山では、持続可能な登山を目指して、様々な取り組みが行われています。どのような取り組みが行われていると思いますか。」 (環境の側面) ・入山制限 ・雨水を利用したトイレ ・排泄物の適切な処理 ・紙製の弁当パック ・ゴミ箱の設置、ポイ捨て禁止の呼びかけ 2) 振り返り 「学習内容を踏まえ、学んだことや考えたことを書きましよう。」	オリンピックパラリンピックの参加国数の増加の背景に、JICA のスポーツ支援が背景にあることを伝える 3つの視点を考え、ワークシートに記入する ワークシートに、三角形を記入する 「持続可能な取り組み①」  入山制限	・写真 途上国におけるスポーツ振興 ・ワークシート ・パワーポイント これからの「スポーツ」とは・・・?  ワークシート ・写真 「持続可能な取り組み②」  下水処理(し尿を山の麓に) 雨水の利用 ・ワークシート
9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） ・登山における環境への負荷の具体例やその解決方法について考えようとしている（観察） ・スポーツに関わる人々の増加が、環境や社会へもたらす影響について理解している（ワークシート）			

8. 本時の展開（概略） 2 / 2 時間目

本時のねらい：スポーツの持続可能な発展に向けてのアイディアを考え、他者に伝えることができる
今後の自己のスポーツとの関わり方について、主体的に考える

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料（教材）
導入 (10分)	<u>1. 導入</u> 前時の振り返りを行う 「4枚の写真の内容を考えて、ストーリーを作ってみよう。」 1) ストーリーを考える 2) 発表する 3) それぞれの写真について解説をする	グループ活動とする	

	アフリカでの手作り のサッカーボール  高校で使用しなくなった廃棄 予定のボール  天然ゴムの木  サッカーボールを縫う子ども たち（児童労働） 		
展開 (30分) (10)	「道具があるからこそ、成立するスポーツがたくさんあります。またその道具は、世界各国で作られ、時に自然由来で作られていることもあります。つまり、普段何気なく使用している道具の視点からも、これからのスポーツのあり方を考えていくことが重要になります。」 2. 身近なスポーツの持続可能性について考える 1) スポーツを3つの視点から分析する 「スポーツの一つを選び、そのスポーツの『スポーツの価値（社会への影響）』『経済への影響』『自然環境への影響』の具体例について考えよう。」 例) サッカー ・スポーツの価値：ファンとの一体感 ・経済：道具、試合観戦料・グッズ、放映料 ・自然環境：ボールの材料が天然ゴム、牛の革 ナイター照明で、エネルギーの消費 (2) 2) 3つの視点のバランスを考える 「3つの視点は、どのようなバランスになっているのだろうか。三角形を書いてみよう。」 (8) 3) 持続可能な取り組みについて考える 「そのスポーツがより持続可能になるためには、どのような取り組みができるだろうか。」 「例えば、サッカーボールの様々な課題に対してどのような対策が考えられるだろうか。」 ・プラごみを用いたシューズ、ユニフォーム ・使わなくなったボールを途上国に送る ・フェアトレードのボールを使う ・FCS 認証制度の天然ゴムを使用 (10) 4) 発表	グループ学習とする 各グループで異なる スポーツを選択する よう配慮する 「みる」(観客)「支える」(大会の開催、道具の生産)などの間接的な視点からも考えるように促す ワークシートに三角形を記入する ・写真 ：ラオスでのボール 寄贈  全体での発表又はワールドカフェ形式での発表	・ワークシート ・写真 ：JICA 笑顔プロジェクト 
まとめ (10分)	3. グローカルな視点でスポーツの持続可能な発展について考える (5) 「東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けても、持続可能な社会の実現に向けた様々な取り組みが行われています。」 「この写真の中に、東京オリパラの際には、持続可能な社会を目指した取り組みの一環として、リサイクルで作られるものがあります。それは何でしょうか。」		・写真 

(5)	・メダル：スマホの IC チップを材料に制作 ・表彰台：プラスチックゴミを材料に制作 ・ユニフォーム：古着を材料に制作 「他には、どのような取り組みが行われているでしょうか。」 ・国立競技場建設の際に、間伐材が使用された ・大会期間中、再生エネルギーの利用される 「国際的なスポーツ大会の開催においても、持続可能な社会の実現に向けて、様々な取り組みが行われており、東京オリパラの成功は、今後の国際的なスポーツ大会にも影響を与えるとも言われています。」 「未来において、世界中の人々がスポーツによって様々な恩恵を受け続けられるように、ローカルな視点とグローバルな視点から、スポーツの持続可能なあり方と私たちとスポーツとの持続可能な関わり方について考えていくことが重要です。」 「ワークシートに、授業内容を踏まえて、「持続可能な社会」の実現に向けて、未来のスポーツがどうあるべきかについて、考えを記入しましょう。」	・写真 ：古着でユニフォーム 	・写真 ：メダルプロジェクト  ・ワークシート
9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） ・スポーツの持続可能な発展に向けてのアイディアを考え、他者に伝えている（観察） ・今後の自己のスポーツとの関わり方について、主体的に考えようとしている（観察、ワークシート）			

10. 学習方法および外部との連携 とくになし
11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み 1 年次、総合的な探究の時間の中での「グローバル概論」という単元において、SDGs の理解とジブン事化をテーマに、ワークショップ（ウォーターフットプリント）や SDGs 実践家による講話、および 2 年次における地域探究学習につながる課題発見などの授業実践を行っている。 本校は、来年度、普通科単位制の学校へと移行する。本校の独自科目・学校設定科目として、「グローバルシティズンシップ（仮）」を開講し、異文化理解、多文化共生、地球的課題（エシカル消費、海洋プラスチック、フードロス）、国際協力などをキーワードに授業を展開していく予定である。

【自己評価】

12. 苦労した点	・教材作成に当たって、過去の体育分野における国際理解教育/開発教育に関わる教材を参考にさせていただこうと、広く調査をしたが、その数は多くはなかった。そのため、手探りの中での教材作成となり、SDGs とスポーツの関わりをどのような切り口から、生徒に思考させることができるか、を考えることに膨大な時間を有した。 ・また、本授業の肝になるアクティビティの写真の選定にも、時間を有した。
13. 改善点	・写真を用いたアクティビティを作成する際によく言われることだが、学習のねらいを踏まえた写真の選定が求められる。資料 1, 2 として用意した「登山ロードマップ」「山小屋での生活」で用いた写真の数や大きさ、写真の構図が適切であったかの検証が必要である。実際の活動の場面では、生徒は意欲的に写真を観察していたが、若干写真の枚数が多かったために、一つ一つの写真を吟味する時間が不足していたように思う。 ・1 時間目で扱った「登山」が、生徒にとって、共感的な理解を得られる題材として機

	能していたかどうか、他のスポーツを具体的事例として取り上げることが生徒の学習効果を向上させる可能性があったのかどうか、の検証が必要である。
14. 成果が出た点	・生徒は、高い興味関心をもって、アクティビティや授業に参加をしてくれた。本授業は、体育の授業や部活動を通して当たり前に行っているスポーツを、経済的側面や環境的側面といった新たな切り口から考える機会となっていた。 ・またこれまで総合的な探究の時間を中心に学習をしてきた SDGs が、スポーツとも密接に関わりがあることは、生徒にとっては驚きと発見であり、多様な視点から物事を考える重要性を認識させる機会となった。
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	※この単元における学習者の変容が読み取れることを意識して下さい。記入者が文章記述を通して「このように変容した」と教師の言葉でその見取りを書くことも可能ですが、できる限り学習者本人の言葉や作品で示していただくことにより、具体性、説得性の高いものになります。
16. 授業者による自由記述	・本授業は、2018 年 12 月 30 日～2019 年 1 月 1 日に訪れたマレーシアボルネオ島キナバル山の登山で撮影した写真を用いて、教材作成を行った。プライベートでの旅行ではあったが、環境問題に関心があったため、登山中に様々な課題意識や違和感を抱き、それらを写真に収めておいたことが、今回の教材作成へとつながった。日ごろから高いアンテナを張り、多角的な視点から情報収集することの大切を改めて感じるものとなった。

参考資料：

- ・JICA 広報誌「mundi」2020 年 4 月「スポーツと開発 人々の可能性を開く」
- ・JICA 広報誌「mundi」2018 年 6 月「スポーツと開発 身体と心が拓く、未来」
- ・JICA 広報誌「mundi」2016 年 6 月「スポーツと開発 人をつなぐ、国をつくる」
- ・世界の子どもの児童労働から守る NGO ACE HP

「持続可能なスポーツ」を目指して

【1 時間目】 テーマ：スポーツが自然環境へもたらす影響について考える

□自然環境があるからこそ成立しているスポーツの具体例

--

□身近なスポーツの中で、自然環境に影響を与えている事例

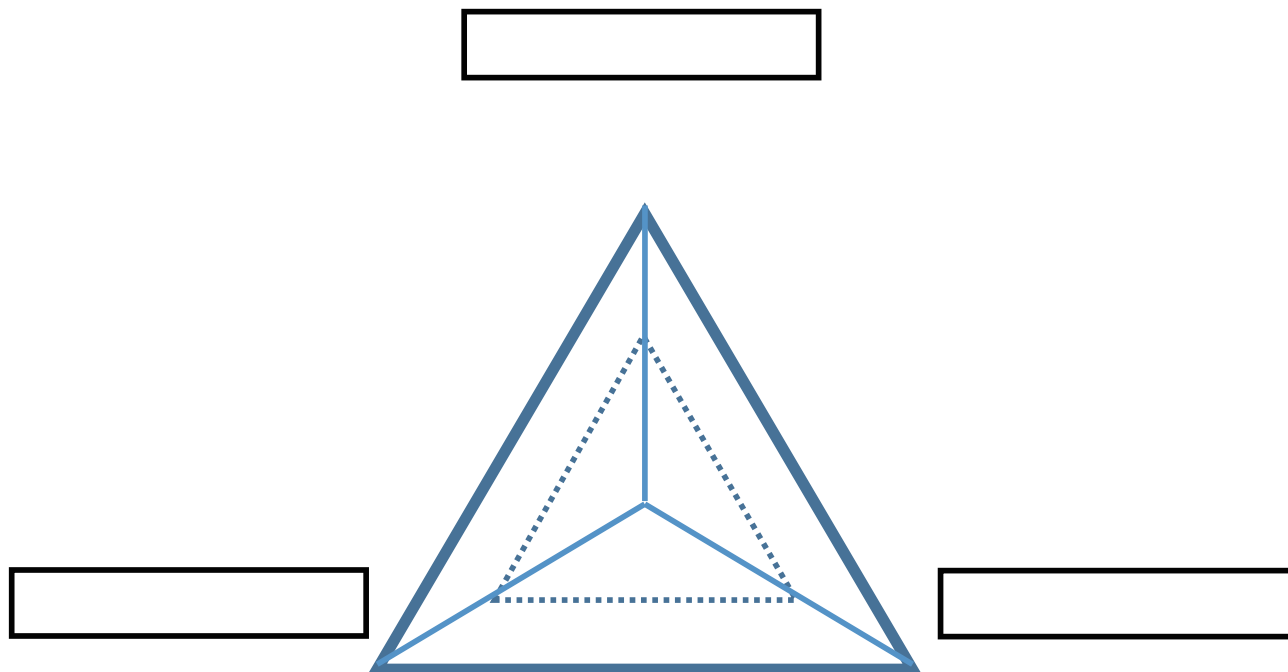
--



--

を例に、自然環境へもたらす影響について考える

未来のスポーツとは？



-MEMO-

📎【振り返り】授業を通して、学んだことや考えたことをまとめよう。

組 番 氏名

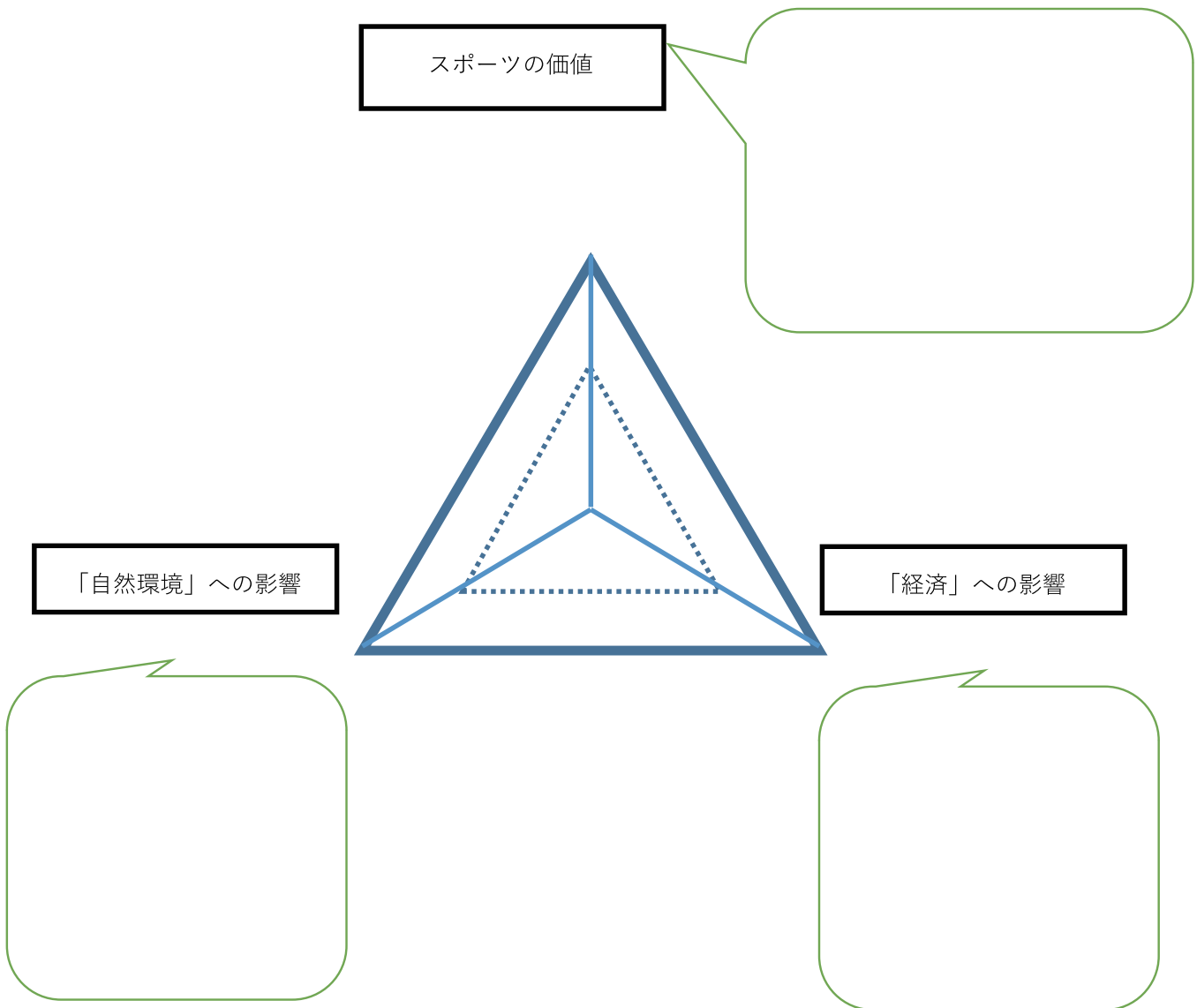
「持続可能なスポーツ」を目指して

【2 時間目】

テーマ：スポーツの「持続可能な発展」に向けたアイデアやこれからのスポーツとの関わり方について考える

◆スポーツ：

- ① スポーツの3つの側面の具体例を考える
- ② 3つの側面、トライアングルのバランスについて考える



—MEMO—

③ 「持続可能な取り組み」についてのアイデアを考える

--

-MEMO-

✎ 「持続可能な社会」の実現に向けて、みらいのスポーツのあるべき姿について、あなたの考えをまとめよう。

組 番 氏名